



# 碧南ロータリークラブ週報

第2516回例会 平成22年9月15日(水)

● 会長 奥田 雪雄 ● 幹事 新美 宗和 ● 会場監督 (SAA) 伊藤 正幸

2010-2011年度 国際ロータリーのテーマ

■ 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール  
 ■ 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90  
 TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100  
 ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>  
 E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)



■ 会報委員 新美雅浩・鈴木健三・西脇博正・菅原 優

## ● 斉 唱

国歌「君が代」  
 ロータリーソング「奉仕の理想」

## ● 本日のメニュー

ちらし弁当 大正館

## ● 本日のお客様

第2760地区ガバナー 田嶋好博様  
 第2760地区幹事 水野吉紹様



新美碧南RC幹事  
 野々山高浜RC幹事  
 野々山高浜RC会長  
 奥田碧南RC会長



田嶋ガバナー・水野地区幹事

## 会 長 挨拶

本日は、2760地区2010～2011年度田嶋好博ガバナーをお迎えしての公式訪問例会でございます。

田嶋好博ガバナー、水野吉紹地区幹事ようこそお越し下さいました。碧南・高浜両クラブを代表して、御来訪を心より歓迎申し上げます。

暦のうえでの季節をあらわした言葉に、本日は鶴鴿鳴（せきれいなく）と記されております。「日本書紀」によりますと、伊邪那岐（イザナギ）と伊邪那美（イザナミ）のふたりの神様が結婚したもののどうしてよいかわからなかった時、鶴鴿が飛んできて交尾をはじめたおかげで、ふたりも結ばれる事が出来たと言われております。そこから鶴鴿は、「恋教え鳥」「恋知り鳥」と呼ばれるようになりました。そんな鶴鴿が恋の季節をむかえ、鳴きはじめる時期をむかえております。本日は早朝5時からのジョギングでひんやりしてとても気持ちよかったです。秋の気配を少し感じました。

さて、本年度の地区方針は「クラブに夢と活力を」であります。

このテーマは、ロータリアン一人ひとりが、自分のクラブに夢と活力を持つようにしてほしいという願望が込められていると聞いております。しっかり計画を立て、大胆に実行することがクラブに夢と活力を与えるとガバナーはおっしゃっております。

田嶋ガバナーは、とても柔和なお方ではあるが、正しいあるべきロータリーの道を、方向性を示されるととてもバランス感覚のよいお人であると尾崎隆爾ガバナー補佐から聞き及んでおります。

これより田嶋ガバナーの識見のあるお話を拝聴させていただきますが、本日出席のすべてのロータリアンが一人ひとり大変楽しみにしております。

田嶋ガバナーの示されるロータリーへの道は大きく、私どもの道であることには変わりないと思えます。



奥田雪雄会長

我々ロータリアン同士のコミュニケーションを高めつつ、友情の輪を広げつつ、御教示の中で、今日出来ることは明日には延ばすことなく、今この時出来ることから進めてまいりたいと思います。そのことが各クラブの発展につながれば幸いです。  
どうぞ、よろしくお願い致します。

## 委員会報告

### 〈出席奨励委員会〉

総会員数74名(内出席免除者15名の内出席者11名)出席者59名	
出席対象者 59/69名	出席率 85.51%
欠席者15名(病欠者1名)	前々回修正出席率 98.53%

### 〈ニコボックス委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

地区ガバナー田嶋好博様、地区幹事水野吉紹様よりたくさん頂きました。

長田 昌昇君 いろいろ。

奥田 雪雄君 } 国際ロータリー 2760 地区ガバナー田嶋好博様、地区幹事水野吉紹様のご来訪  
新美 宗和君 } を心より歓迎致します。

伊藤 正幸君 いい事がありました。

## 卓 話

### 国際ロータリー第2760地区ガバナー公式訪問 田嶋好博氏

2012～13年度のR I 会長に埼玉県八潮ロータリークラブの会員田中作次氏が当選されました。誠におめでたいことであります。R I 会長は日本人としては田中さんが3人目だと思いますが、ご活躍を期待しています。



田嶋好博氏

当地区も多数の会員を擁する地区でありながら、従来R I 理事を選出していなかったこともあり、それ相当の協力を要請されることになると思います。

今年度のレイ・クリンギンスミスR I 会長は、アメリカ人の弁護士で、若い頃ロータリーの奨学試験に合格され3年間南アフリカに留学された学友であります。クリンギンスミスR I 会長は「伝統的な慣習の全てを見直し、もっと良い方法があれば、新しい伝統を始めるべきである」とされた上で、R I 会長テーマを「地域を育み 大陸をつなぐ」と発表されました。

クリンギンスミス会長は、R I 会長テーマについて、今迄のR I 会長テーマは、ロータリアンだけに呼び掛けるものであったが、今回はロータリアン以外の人達にロータリーの目的を説明し、ロータリアンに対しては自分達の活動の意義を再認識して貰うことを目標に作成したと説明されました。

このテーマの「地域を育み」は私達が地域社会の人達と一緒に地域社会がより良くなるよう、より住みよくなるよう協力しようとの呼び掛けであり、「大陸をつなぐ」は国際理解と国際協力を努力しようということで、ロータリーに相応しいテーマであり同時に世界に対して呼び掛けるという勇大なテーマであります。

またR I 会長の強調事項は8つとされています。クリンギンスミス会長は特にポリオ撲滅と青少年プログラムの推進を強調したいと説明されています。私は強調事項をポリオの撲滅と青少年プログラムの推進と平和と紛争の予防・紛争解決以下の6つを人道的奉仕の具体的な例と解釈し、それを人道的プロジェクトの推進で一括りして3つに整理いたしました。

皆様はR I の長期計画について見たり聞いたりされましたでしょうか。R I は一昨年11月の理事会で長期計画を決定し、今年7月1日から実施しています。R I は今後3年から5年はこの長期計画に基づいて運営されます。実は長期計画の「人道的奉仕の重点化と増加」の項にポリオ撲

減、青少年と青年のプログラム、ロータリー財団の6つの重点分野というものがあり、今年度のR I会長の強調事項はそれと全く重複します。

長期計画を見ますと標語に「超我の奉仕」、中核となる価値観として「奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ」使命に「私たちは、他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進する」とされています。

R Iは地区やクラブに対してそれぞれの長期計画の策定を呼び掛けています。

本年4月の規定審議会は、新世代奉仕を四大奉仕に追加して五大奉仕とすることを決定しました。標準ロータリークラブ定款第5条に追加される内容は、指導力養成活動（RYLAのこと）、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加（インターアクト、ローターアクトのこと）、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プロジェクト（青少年交換のこと）であります。1月の国際協議会では新世代のためのロータリークラブの紹介があり、規定審議会では小中学生を対象にしたキッズロータリーの話も出たようですが、日本では難しいと思います。従って、当地区ではRYLA、インターアクト、ローターアクト、青少年交換の4委員会を中心に新世代の活動を展開して行くことになります。

今年は近藤R I理事らの発案でロータリークラブ定款の表現の見直しも始められています。R Iの職業奉仕委員会など今年度はさまざまな制度改革が始められる年であります。

私はさまざまな機会でロータリーの基本は会員であり、会員が恒常的に活躍されるクラブだと申し上げて参りましたが、各クラブが歴史と伝統を守り育てると共に奉仕に対するしっかりした方針を確立され、ロータリー夢を実現されるよう祈念いたしております。

## お礼の言葉

野々山貴文高浜RC会長



次回例会案内 平成22年9月29日(水)

卓話「落語の楽しみ方」

社会人落語家 お好味家喜楽氏